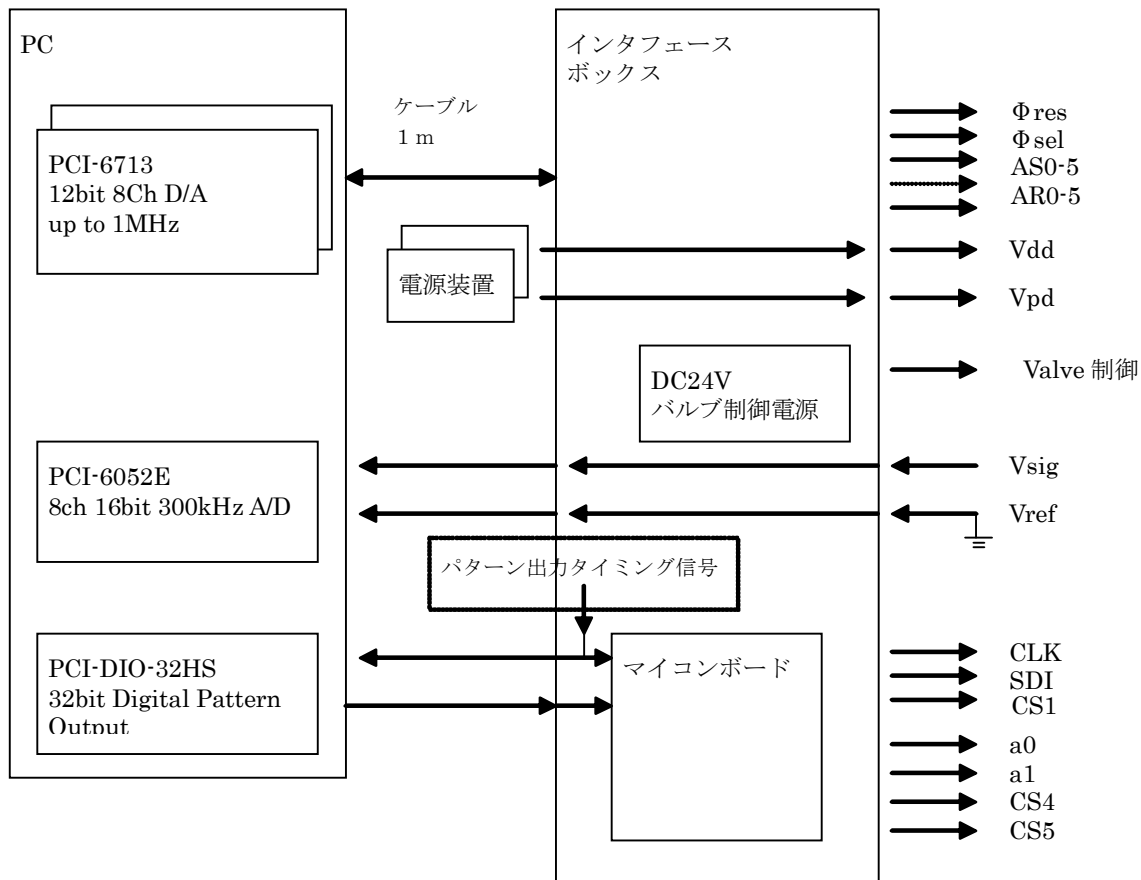


光センサアレイ評価システム

1. システム構成



- PC 本体 (Window 2000、メモリ : 512Mbyte)
- PCI-6713 (8ch, 12bit D/A) × 2、接続ケーブル (1 m) × 2
- PCI-6052E (8ch, 16bit 300kHz A/D)、接続ケーブル (1 m)
- PCI-DIO-32HS(32bit DO)、接続ケーブル (1 m)
- 専用インターフェースボックス

PC 側ボード、シールドボックス間に位置し、A/D、D/A で必要な入出力及び DO ボードからの信号をマイコンボード経由しコネクタを介して、センサー部側へ接続するもの。A/D ボードからのカウンタによるバルブ制御信号を DC24V 駆動信号へ変換して、出力します。

1. システム概略

- ・ PCI-6713×2のD/Aボードを使用し、デバイスに印加する信号を任意のレベル及びパルスパターンで連続して生成します。
PCI-6052のA/Dボードを使用し、並行して指定のタイミングでアナログ値を計測し、順次グラフ表示します。
- ・ PCI-DIO-32HSのDOボードを使用し、指定のタイミングで出力されるSGL、REF抵抗値（パラレル）をマイコンボードにより指定信号（シリアル）へ変換しセンサー部に出力して設定し、ダイナミックに電圧補正を行います。
- ・ 計測するセンサー部出力のゲイン選択を予め行う事が出来ます。
- ・ 信号のタイミング、レベル等の計測条件は、CSV形式でファイルにセーブ及びロードする事が出来ます。
- ・ 計測データは計測条件と共にCSV形式でファイルにセーブする事が出来ます。

3. ソフト概略

- ・ LabVIEW6.1及びVC++で作成してDLLで動作するプログラムです。
- ・ LabVIEW6.1では、主にGUI処理を行い、DLL部では、ボードの計測制御処理を行います。

3. 1. 画面例

